会　報

2020～2021 ＲＩ第2720地区

人吉ロータリークラブ

通 算 ３０７２ 回
２０２０年１２月４日
第 １２ 回 例 会

ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度 ＲＩ会長
ホルガー・クナーク

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎㉒2171 例会場 事務局 清流山水花 あゆの里内 ☎㉔6665 ㉔6505

人吉ロータリークラブ ホームページ　フェイスブックページ　[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2020～2021年度 人吉ロータリークラブテーマ

この仕合せ(めぐり合わせ、運命)に感謝し、より豊かな人生の扉を拓こう」

本日の進行

点鐘	出席率報告
国歌斉唱	結婚誕生祝い
ﾛｰﾀﾘｰｿﾝｸﾞ斉唱	ベテラン会員卓話
会長の時間	寄付カード
支援金贈呈えびのＲＣ	点鐘
幹事報告	

開催場所：人吉球磨自動車会館（ＺＯＯＭ）

点　鐘　　葉山稔洋 会長

歌　唱　　ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ 平田フク委員長

国 歌　「君が代」
Ｒ Ｓ　「それでこそロータリー」

司会・進行　　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　竹長一幸委員長

来訪者紹介　　葉山稔洋　会長

RID2730 えびのロータリークラブ
会長　石坂乃里子　様

会長の時間

会長　葉山稔洋

皆さんこんにちは、先週のワイン例会は、如何だったでしょうか？

３５年前、新婚旅行でヨーロッパに行った時、ドライブインに立ち寄ると日本ではタダで飲んでいた水よりもワインが安く買えたので飲んだ程度で、味も何もわからず飲んでおりました。が、白？赤？は、料理の色に合わせてチョイスして下さいとの事だったかなと思います。兎に角楽しく、美味しく沢山いただきました。

２９日は、指宿ＲＣから梅垣会長をはじめ歴代会長が５名お見舞いに来て頂きました。

前後しますが、２８日は荒尾ＲＣへ１３名で訪問し、支援金を持って来て頂いた清田社会奉仕委員長がカメラ屋さんだけあって２０数年の交流の記録をプロジェクターに写し出し、８年ぶりの交流会に花が咲きました。今は亡き先輩方の懐かしく微笑ましい写真を見ることが出来ました。

伊久美パスト会長の姿が映った時に、亡くなられた事をお伝え致しました。１０月１４日金曜日の例会当日の朝に連絡を頂いたので、実は昨日が４９日となり仏様となられました。

朝から今日の原稿を書こうと思っておりましたが、夜中から仕事をしておりまして申し訳ありませんが、書き出しませんでした。そこで、夜中にお寺様からお聞きした事をお伝えしたいと思います。

お葬式の時にもって行く熨斗の上書きは、香典(仏式)がベスト、４９日迄は御霊前、それ以降は御佛前と言われておりました。いつか春木先生にも解説を頂きたいと思います。

今日は、これで会長の時間を終わります。

【来訪者】

国際ロータリー第2730地区えびのＲＣより、見舞金を頂戴いたしました。

会長　石坂乃里子様

幹事報告

幹事　北 昌二郎

≪連絡事項≫

〇12月ロータリーレート　105円

〇12月ガバナー月信が地区ホームページへ掲載されました。

〇例会変更お知らせ

熊本RC　12月4日から例会休止
（感染リスクレベル４特別警報による）

熊本東南RC　12月16日、23日の例会取止め

熊本北RC　12月17日は夜から昼に変更、
24日は取り止め

12月の結婚祝い			
葉山 稔洋会員	1日	友永 和宏会員	4日
12月の誕生祝い			
伊久美早利会員	3日	浦田 繁喜会員	11日
増田 隆二会員	11日	青木 一幸会員	21日
内藤 靖雄会員	21日	竹長 一幸会員	26日
山田 仁法会員	29日		

出席率報告

委員　伊久美早利

現　会　員　数	52名	出席免除会員数	2名
欠　席　者　数	16名	本日の出席率	
出　席　者　数	34名	68.0%	
免除会員出席数	0名		

＊届け出欠席　青木・後藤・春木・堀川・本田・岩井・宮原
中村・西・延岡・大賀・尾上・戸高・冨永・友永
外山

＊出席免除会員　愛甲・増田

＊メークップ期間は年度内(7/1～6/30 迄)になります。

【親睦委員会】　委員長 新堀純子

ゴルフ愛好会

11/29荒尾ＲＣ親睦交流ゴルフ　小岱山コース
葉山会長杯第３戦 成績発表

優勝　浅野 強会員

今年度委員会事業11月28～29日荒尾ＲＣ親睦会・交流ゴルフにご参加いただきました皆様お疲れ様でした。楽しい２日間でした。総合優勝は2720Japan O．KREC幹事の中川宝星さんでした。

【プログラム委員会】

ベテラン会員５分間卓話⑤

川越 公弘 会員　（Ｒ歴33年）

こんにちは川越です。私は生来人の前で話すことが苦手です。人吉ＲＣに入会した古い順番で本日が私の番とのことです。皆さんにはご迷惑と存じますがしばらくの間お付き合い下さいますようお願いします。私が人吉ＲＣに入会しましたのは、1987年（昭和62年）2月で、会長が斉藤積さん、幹事堤脩先生で創立30周年の時でした。入会時の職業分類は不動産業です。推薦者は武末先生、片岡さん、石蔵昌佑さんです。在籍年数33年9ヶ月になります。

中学生時代から大学を卒業するまでスポーツ畑を歩いてきましたので、先輩に接する態度と後輩の時とではその接し方は違うのが当たり前思っていたと思います。その頃の自分自身を振り返ってみると頑固なほど自己中心主義で人の話を聞くことが苦手、人に頭を下げるのが下手な嫌な奴だったと思います。そんな私が毎週金曜日１時間ＲＣの例会で会員

の皆さんと接し話を聞くことで人の話を聞くことの大切さとそれぞれの立場を理解する力を身につけてきたと思います。

家業の飲食業を手伝い、平成４年に温泉を掘削し、温泉旅館が今私の職業分類となりました。その頃の私はＲＣの例会が一番勉強の場で、仕事がその実践の場と思い毎日充実した日々を送っていたことを今思い起こし、あの頃は良かったなあ何事にもやり甲斐があったと懐かしく思っています。

「あの頃は良かった」と言うようになったという事は歳をとった証拠だそうですが、私も今年で74歳、そろそろ終活の準備と思う矢先、コロナ禍による客足の低下と泣き面に７月４日の豪雨災害、自宅は大規模半壊、宿泊施設、調理場等は裏山の崖崩れで土砂侵入と流水で未だ営業できません。温泉源には被害はなく温泉だけは通常営業しています。

これから先、どう立て直していくか計画すら立ちませんが、世の中で起きた事は必ずや何とかなると信じ、出来ることをひとつずつやり続け、一日でも早く縮小した型でも営業にこぎ着けたいと念じ努力しているところです。

人吉ＲＣの例会は今でも私にとって最高の学ぶ場であり、知識を得る場であることに違いはありません。33年９ヵ月の間に退会された方、亡くなられた方々の事に想いを馳せながら本日この例会に出席された会員の皆様に心より感謝申し上げ、拙い私の卓話に致したいところですが、このままでは皆様の耳を汚しただけで終わってしまいますので、最後に食品衛生指導員として皆様へ便利に利用できるものをご紹介したいと思います。

皆様のお手元に配布しておりますチラシをご覧下さい。これは私自身実践している食中毒特にノロウイルス予防のための消毒液の作り方です。（チラシ説明）

コロナウイルスには比較的アルコールの方が効果があるそうですが、ノロウイルスには次亜塩素酸ナトリウムでないと効果はないといわれています。出来上がったペットボトルには誤飲予防のため大きく「飲み物ではありません」と書いてください。

今年のインフルエンザニュースによると昨年と比較して1/270と発症率が激減しているそうですが食中毒の発生も減っています。専門家によるとコロナ対策で「手洗い」「マスク着用」等、個人の衛生対策が出来ているからだそうです。

皆様にも今後共健康に留意されてご活躍される事を願い、私の卓話と致します。
本日は誠にありがとうございました。

ベテラン会員５分間卓話⑥

安達 玄一会員　（Ｒ歴25年）

入会が古い会員からの卓話ということで・・こんなに早く回ってくるとはびっくりしています。

入会したのが1995年でした。翌年、石蔵会員のお父様が幹事の時に全員卓話がありました。安達君、君が１番バッターだからね、しっかり頼むよと言われ、脂汗が出たのを・・ほんとに逃げ出したい気分でした。

今日は、今期2720地区学友会副委員長として出向しています地区ロータリーの事を話してみます。

私は、人吉RAC委員長を３年間も務めたのが、運のつき、はじめ・・だったのでしょうか、続けて地区のローターアクト委員長を５年間務め、2720地区の５人のガバナーに関わらせて戴きました。

最初の３年間は、３人とも田がつく名前のガバナーでした。野田・前田・永田ガバナーです。残念ながら野田ガバナーはお亡くなりになりましたが、非常に優しい方で人吉RAC創立40周年記念式典には、当日の大分でのセミナーを途中で抜けられ自分で運転をして人吉へ駆けつけていただきました。野田ガバナーと同じ熊本南RCの壽崎パストガバナーと同じテーブルで楽しまれておられたのを思い出します。次次年度のガバナーには、熊本南RCの堀川ノミニーが決まっていますので、青少年奉仕に熱心なクラブとの永く深いご縁を感じています。前田ガバナーは、人吉RC創立60周年時のガバナーで、キッチンカー活動などで何度も人吉に来られた事もあり、本田会員や皆さんともなじみが深い方です。地区の予算が厳しくなっていることもあり、ローターアクトの地区予算をいきなり20万円も引き下げられましたが、実際のアクト活動状況を見直され次年度にまた上げていただきました。永田ガバナーは、熊本市内のお医者さんで熊本地震により病院・自宅が被災されたにも関わらず復興に大活躍されたガバナーでした。ただ、政治的な思想にこだわりのある方で中国・韓国との交流を推進されることはありませんでした。もちろんアクトに対しては右向け右、と号令はかけられませんでしたが、様々な主義主張をされるガバナーがいることを勉強させていただきました。

このように３名の田んぼでローターアクト、特に地区役員は良く育ったと思います。

次は、いよいよ高い山に登ることになりました。４年目の高山ガバナーは温和で本当にアクトに対して優しく見守っていただきました。今回のアメリカ大統領選に例えるとバイデンさん的な方でしょうか・・地区学友会を設立され初代の学友会会長にアクトのパスト代表を任命されました。いよいよ最後の５年目には、怒涛の瀧登りが待ち構えていました・・・。あまり言いたくはありませんが、地区のトランプさん的な方かもしれません。ガバナー就任時にローターアクトに向けて、大海に漕ぎ出そう、と号令をかけられましたが・・・。今まで４年間に決められた青少年奉仕部門のルールのほとんどが覆されました。詳しくは申せませんが、原因は、青少年奉仕に関わる全ての活動の責任がガバナーにあることや、そしてまだ2720地区の危機管理体制が整っていないというのが理由でした。インターアクト・ローターアクト・青少年交換・ライラ・米山他、全ての青少年奉仕活動がストップしてしまいました。新型コロナの影響も大きかったのですが、実際に若者と

一緒に活動をしていただきたかったのが正直な私の気持ちです。

私は、ロータリー活動での功績や自慢はないのですが、地区活動での自慢が一つだけあります。それは、アクトの地区代表５名と今の代表の計６名全員が自分から手を挙げて地区代表に立候補し、その場に立ち会えたことです。７・８番目も決まったみたいです。彼らの役に立つどころか、私の方が反対に彼等から大変な刺激を受けました。

さて人吉ローターアクトでの思い出があります。それは私がロータリーに入会した新人２年目でした。ローターアクト副委員長になった年に高塚山ハイキングがあり、伊久美さんご夫婦が参加されました、おそらく伊久美さんが６０歳を過ぎた頃だと思います・・・・。当時は、私の家内もまだ元気でしたので子供２人を連れての楽しいアクト行事でした。

今年度人吉RACは創立45周年を迎えます。これまで多くの先輩ロータリーアンに支えられてきたローターアクトのご指導をお願いして卓話を終わらせていただきます。有り難うございました。

ベテラン会員５分間卓話⑦

中島 博之会員　（Ｒ歴30年）

人吉ＲＣ創立記念日は昭和３２年（1957年）３月２５日です。創立年度～第４０年度（堤正博会長：尾方芳樹幹事）までの入会者をご紹介をします。

神戸政郎：以下創立会員・・
市長は名誉会員：渕田長一郎

	氏名	職業分類	勤務先
1	山本定喜	繊維品小売	(名)山本屋
2	中津留覚介	歯科医	中津留歯科医院
3	富田清作	旅館	(名)鍋屋旅館
4	釜田元次郎	醤油製造	釜田醸造所
5	堤 貞雄	病院	堤病院
6	稲富良雄	繊維品販売	(株)稲富商店
7	森田勝五郎	マニラロープ製造	(株)熊本製綱
8	神戸政郎	製材	(株)球磨川林業
9	田村和一	通運	(株)日本通運人吉
10	泉 万次郎	薬剤師	泉 薬局 書房

山本 博	呉服雑貨販売	山本商店
三角光男	石油販売	(資)三角商店
山口 宏	外科	山口病院
那須六平	弁護士	那須法律事務所
山崎庄次郎	普通銀行	(株)肥後銀行人吉
須子忠俊	商工協同組合	人吉製材事業協同組合
宮田 清	味噌製造	(資)宮田本店
堤 治助	焼酎製造	(株)堤酒造本店
上妻 進	建築材料販売	(株)人吉木材市場
岡本大蔵	文房具販売	(資)岡本紙店
藤村正典	製材	(株)球磨川林業

チャーターメンバーで、会長(7名)：幹事(3名)　を務めた人

	氏名	職業分類	勤務先
1	山本定喜	繊維品小売	(名)山本屋
2	中津留覚介	歯科医	中津留歯科医院
3	富田清作	旅館	(名)鍋屋旅館
4	釜田元次郎	醤油製造	釜田醸造所
5	堤 貞雄	病院	堤病院
6	稲富良雄	繊維品販売	(株)稲富商店
7	森田勝五郎	マニラロープ製造	(株)熊本製綱
8	神戸政郎	製材	(株)球磨川林業
9	田村和一	通運	(株)日本通運人吉
10	泉 万次郎	薬剤師	泉 薬局 書房

山本 博	呉服雑貨販売	山本商店
三角光男	石油販売	(資)三角商店
山口 宏	外科	山口病院
那須六平	弁護士	那須法律事務所
山崎庄次郎	普通銀行	(株)肥後銀行人吉
須子忠俊	商工協同組合	人吉製材事業協同組合
宮田 清	味噌製造	(資)宮田本店
堤 治助	焼酎製造	(株)堤酒造本店
上妻 進	建築材料販売	(株)人吉木材市場
岡本大蔵	文房具販売	(資)岡本紙店
藤村正典	製材	(株)球磨川林業

【寄付カード】

〈ニコニコ箱委員会〉

- **えびのＲＣ石坂乃里子様**　お見舞いに伺うのが遅くなり誠に申し訳ありませんでした。一日も早い復興をお祈りしております。
- **鳥井会員**　先日の荒尾ＲＣとの親善ゴルフ大会ではあろうことか準優勝でした。これも小岱山の神様と年寄りがんばれという会員の皆様の応援のおかげと感謝しています。
- **浦田会員**　誕生祝ありがとうございます。86歳になりました。
- **中島会員**　遊び半分で作ったもので永い間眠っていた資料です。日の目を見て嬉しいです。

- **北幹事**　石坂会長のご来訪を歓迎致します。弘泉寺住職の復帰を心待ちにしています。
- **浅野会員**　久しぶりに優勝しましたのでニコニコします。Ｗペリアで良かった。

〈Ｒ財団委員会〉

- **葉山会長**　えびのＲＣ石坂会長来訪の上、支援金も頂き誠に誠に有難うございます。

・**中川会員**　えびのＲＣ石坂会長、ようこそ人吉ＲＣにお越し頂きありがとうございました。２年続けての会長をされ、ロータリーの鑑ではないでしょうか。頑張りましょう。
・**伊久美会員**　父寛志の四十九日を無事に迎えることができました。通夜・葬儀への参列、御香典、御花、弔電など沢山のお心差しありがとうございました。

〈米山記念奨学委員会〉
・**葉山会長**　荒尾に同行頂きました12名の皆さんお世話になりました。
・伊久美会員　Ｒ財団カードと同文
〈人吉ＲＣ奨学基金委員会〉
・**葉山会長**　川越会員、安達会員、中島会員、ベテラン卓話ありがとうございました。
・**有馬会員**　石坂乃里子会長、ご来訪ありがとうございます。仕事のため中退します。すみません。
・**伊久美会員**　Ｒ財団カードと同文
・**ゴルフ愛好会**　11/29荒尾ＲＣとの交流会とゴルフに行ってきました。ワンオンチャリティーです。

点 鐘　　葉山稔洋 会長

Ｒミニ情報

ウガンダのロータリークラブは、母子の健康のプロジェクトを通じ、コロナウイルスの制限下でも目的意識をもって活動しています。
記事：Claire Zulkey
ウガンダ政府は3月、コロナウイルスの感染者数が12件に満たない頃から、厳しいロックダウンや学校閉鎖を実施して迅速に対応しました。この対策により国内でのウイルス拡大が抑えられ、命が守られました。アフリカ大陸では感染者数が100万件に達していた中、ウガンダで8月に報告された件数は1200件、死者は5人のみでした。しかし、このような対策があっても、失業や移動制限のせいで妊娠中の女性が病院に行けないといった問題が生じました。ロイター通信によると、カンパラに住むある女性は、約2.4キロ離れた病院に行くのに90分もかかり、結局女性もお腹の赤ちゃんも死亡するという悲惨な結果となりました。さらに、アドボカシー団体のWomen's Probono Initiativeは、ロックダウン中にほかの女性6人と赤ちゃん2人が命を落としたと報告しています。
カンパラにあるルバガ・ロータリークラブはこの報告を聞き、安全な移動手段を提供するために行動を起こしました。クラブは、カンパラから南西に車で40分ほどの場所にあるKikajjoの住民に医療目的の移動手段を提供するため、救急車を1台寄贈しました。クラブの直前会長であるBetty Mwesigwaさんは、Kikajjoは人口が多く、所得の低い地域だと話します。
「コロナウイルス流行中の問題は、ロックダウンの間に多くの母親がクリニックに行けなくなったことです。道端で出産しなければならなかった2人の女性の話を知り、私たちは救急車を寄贈することに決めました」
旅行業に携わるロータリアンが車両1台を提供し、それを救急車仕様に改造しました。クラブは運転手とメンテナンス、乗客のためのマスクの購入資金を集めました。
「道端で出産しなければならなかった2人の女性の話を知り、救急車を寄贈することに決めました」
この救急車はロックダウン中に、ケアを必要としていた75人の女性の足となりました。9月にはほとんどの移動制限は解除されたものの、国内での感染者数が1万人、死亡者が96人に達していたことから、ウガンダの人びとは引き続き、できるだけ移動を制限することが求められました。
Mwesigwaさんによると、クラブは交通機関が再開した際に救急車での支援を一度止めましたが、別のかたちでサポートを提供し続けました。無料の歯科・眼科検診、リプロダクティブ・ヘルスケアを提供する保健イベントを実施したり、カンパラから1時間半ほど北西にあるSumutoの病院に産科病棟を設立する計画を練っています。この地域はかつて戦争によって大きな被害を受けたものの、まったく復興されていない地域です。
「この病院は、出産する女性たちであふれかえっていますが、設備がとても乏しい」とMwesigwaさんは話します。
母子の健康を支援する活動に加え、ルバガ・ロータリークラブは地元の病院に石鹸、ハンドサニタイザー、手洗いのための小さな水タンクを寄贈しました。ウガンダの病院では水が不足しており、そのほかの物資を調達するための政府からの資金が非常に少ない状態です。これに対応するために、多くのロータリークラブが水タンク、マスク、手袋、消毒液、石鹸やその他の物資を寄贈しました。
ルバガ・クラブはまた、食料に困っている人たちに物資と資金を提供しました。ロックダウンにより多くの人が食べるものにも困っていたと、Mwesigwaさんは振り返ります。「ある学校の先生は自分の食べ物を子どもたちに分け与えていました」
ルバガ・ロータリークラブは、母子の健康を支える活動を行うウガンダの多くのクラブの一つです。これらの活動は、すでに母子の死亡率が高かったケニア、タンザニア、ウガンダで、コロナウイルスの流行によってさらに死亡率が上がったことを受け、ますます重要な取り組みとなりました。
母子の健康を支えるプロジェクトを通じて、クラブは目的意識を持つことができたと言います。
「多くのウガンダ人の命を救うことができ、嬉しく感じています」

母子の健康を支えるためにロータリー財団をご支援ください
https://www.rotary.org　より